

用賀・二子玉川地区防災計画

【令和3年修正】

用賀地区

二子玉川地区

目次

- 1 用賀・二子玉川地区の特性 ……………用賀・二子玉川-1(-481-)
 - (1) 自然特性 ……………用賀・二子玉川-1(-481-)
 - (2) 社会特性 ……………用賀・二子玉川-2(-482-)
 - (3) 地域危険度 ……………用賀・二子玉川-4(-484-)
 - (4) 被害想定 ……………用賀・二子玉川-5(-485-)
 - (5) 防災資源一覧 ……………用賀・二子玉川-8(-488-)
 - (6) 防災資源マップ ……………用賀・二子玉川-9(-489-)

- 2 各団体の防災活動～現在の取組状況～ ……………用賀・二子玉川-10(-490-)

- 3 用賀・二子玉川地区の課題と取り組み ……………用賀・二子玉川-18(-498-)
 - (1) 用賀・二子玉川地区における課題 ……………用賀・二子玉川-18(-498-)
 - (2) 今後の取組み ……………用賀・二子玉川-19(-499-)
 - ① 地区のコミュニティ形成 ……………用賀・二子玉川-19(-499-)
 - ② 災害に対する各家庭での備え ……………用賀・二子玉川-19(-499-)
 - ③ 自助・共助・公助の役割分担と連携 ……………用賀・二子玉川-19(-499-)
 - ④ 初期消火 ……………用賀・二子玉川-20(-500-)
 - ⑤ 避難所で生活しないで済むための対策 ……………用賀・二子玉川-20(-500-)
 - ⑥ 避難所運営の強化 ……………用賀・二子玉川-20(-500-)

1 用賀・二子玉川地区の特色

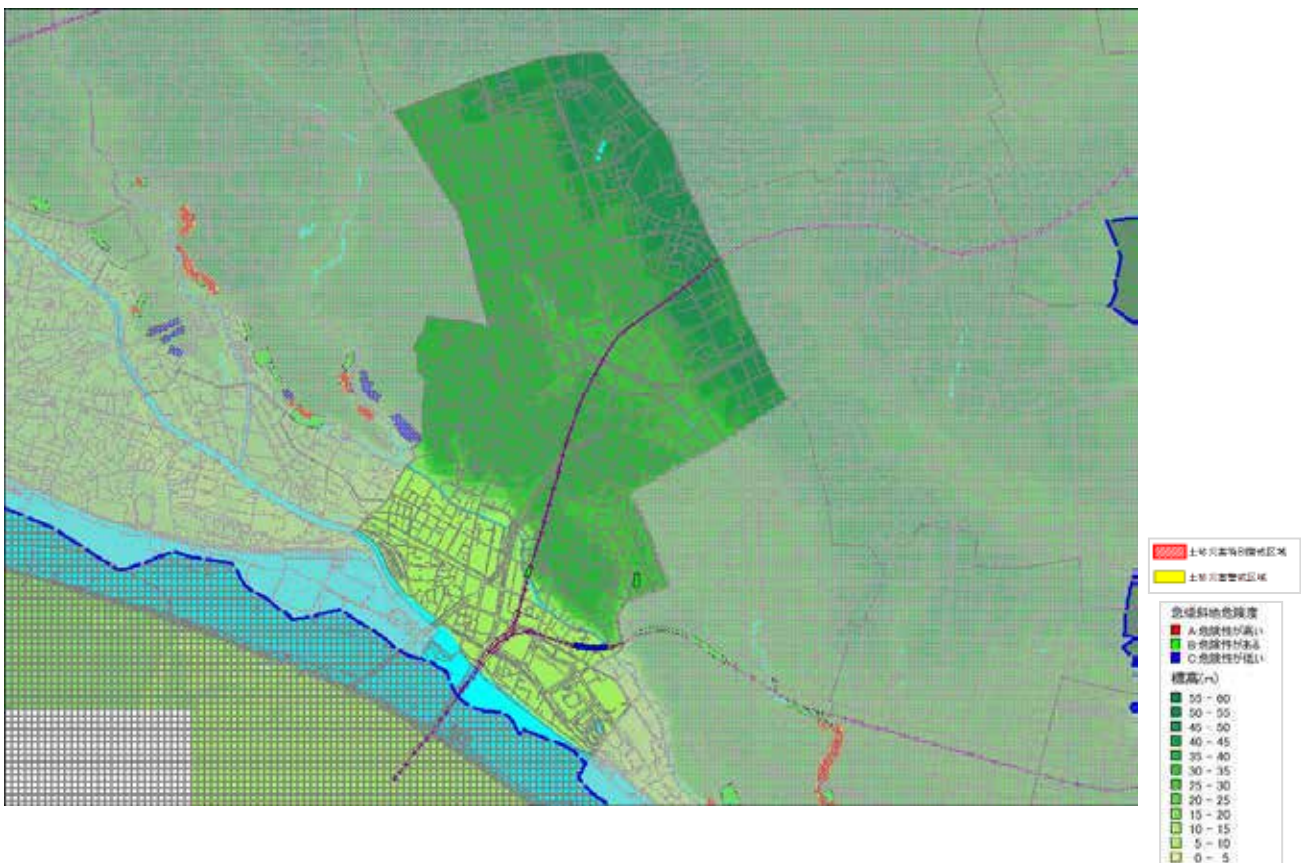
(1)自然特性

面積	4.52 Km ²	最高標高	48.2 m	最低標高	5.1 m
----	----------------------	------	--------	------	-------

位置



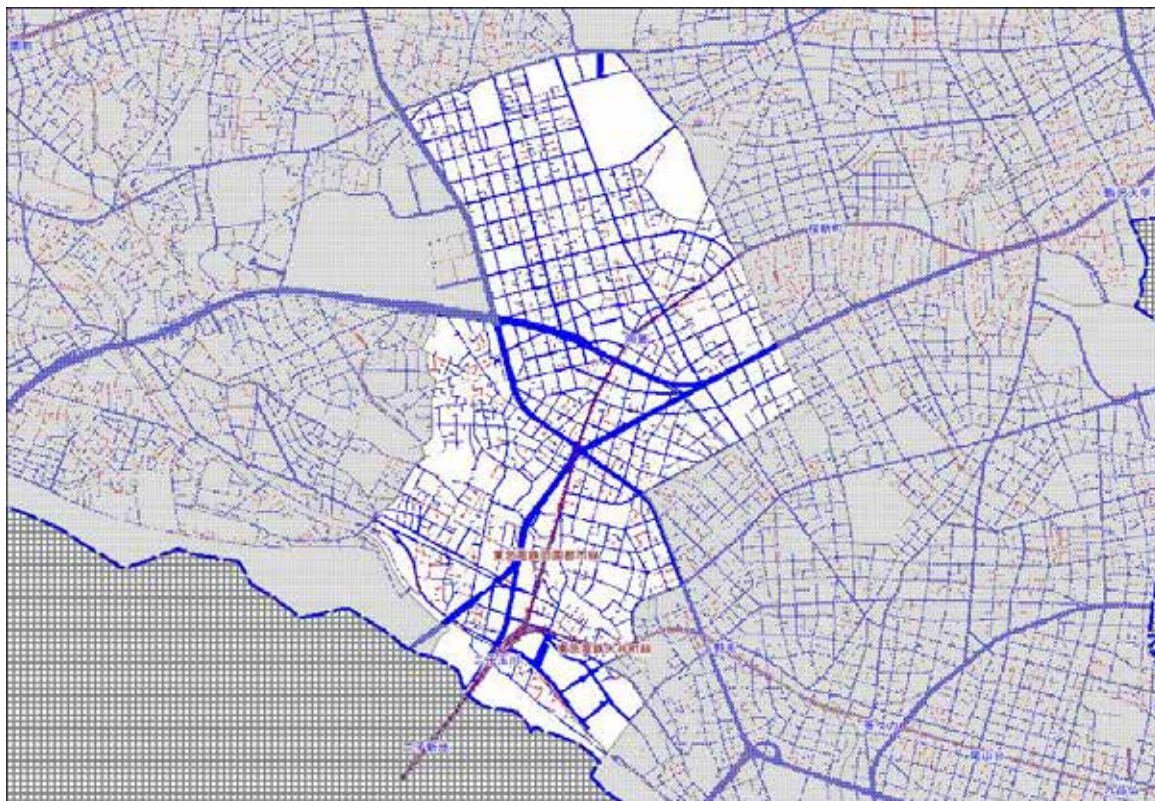
標高・急傾斜地・土砂災害危険箇所



(2)社会特性

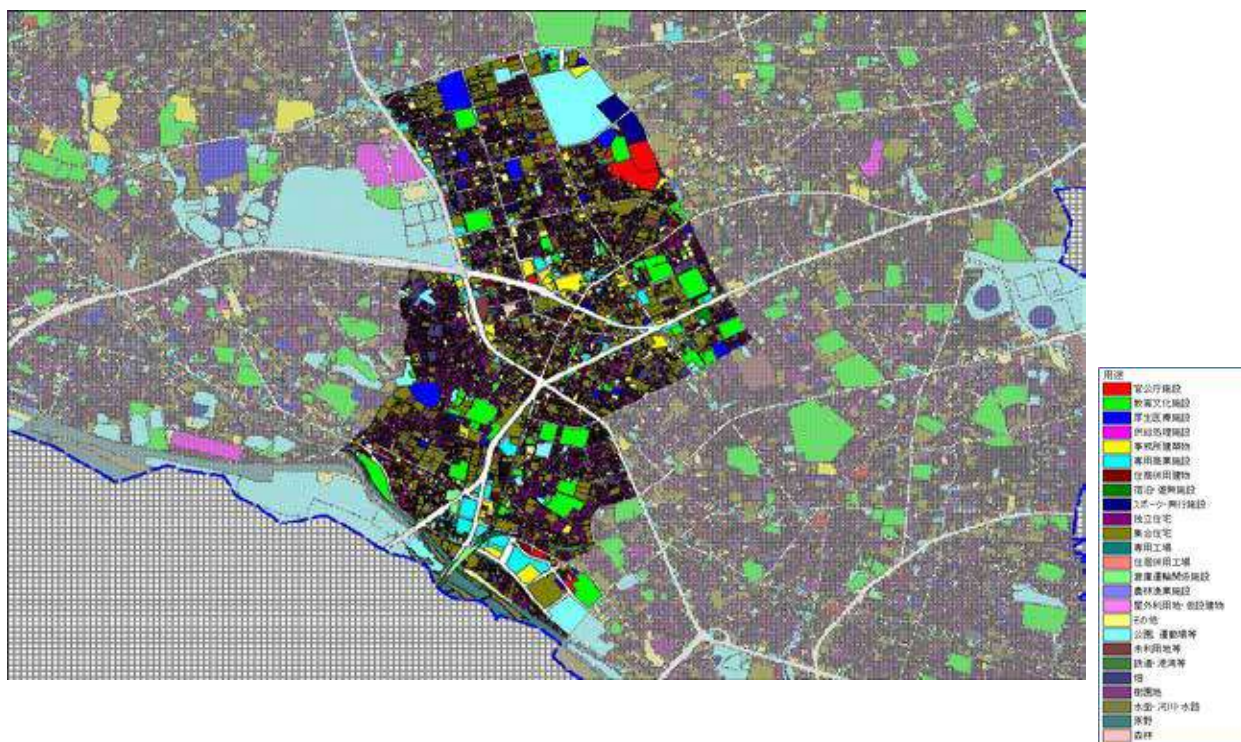
人口	64,720 人	細街路率	15.9 %	
世帯数	32,515 世帯	昭和56年以前木造建物棟数密度	60.8 棟/Km ²	
1世帯あたり	1.99 人	耐火率(建築面積ベース)	76.1 %	
若年層数(15才未満)	8,833 人	土地利用(宅地)	63.7 %	
若年層率(15才未満)	13.6 %	土地利用(宅地以外)	36.3 %	
高齢者数(65才以上)	12,514 人	鉄道駅	東急田園都市線用賀駅 二子玉川駅 東急大井町線二子玉川駅	
高齢者率(65才以上)	19.3 %			
昼間の人口	76,845 人	産業	商業	76.9 %
夜間の人口	63,355 人		工業	8.7 %
昼夜間人口比	1.21 -		農業	14.3 %
町会・自治会数	6 -			

道路・公共交通機関



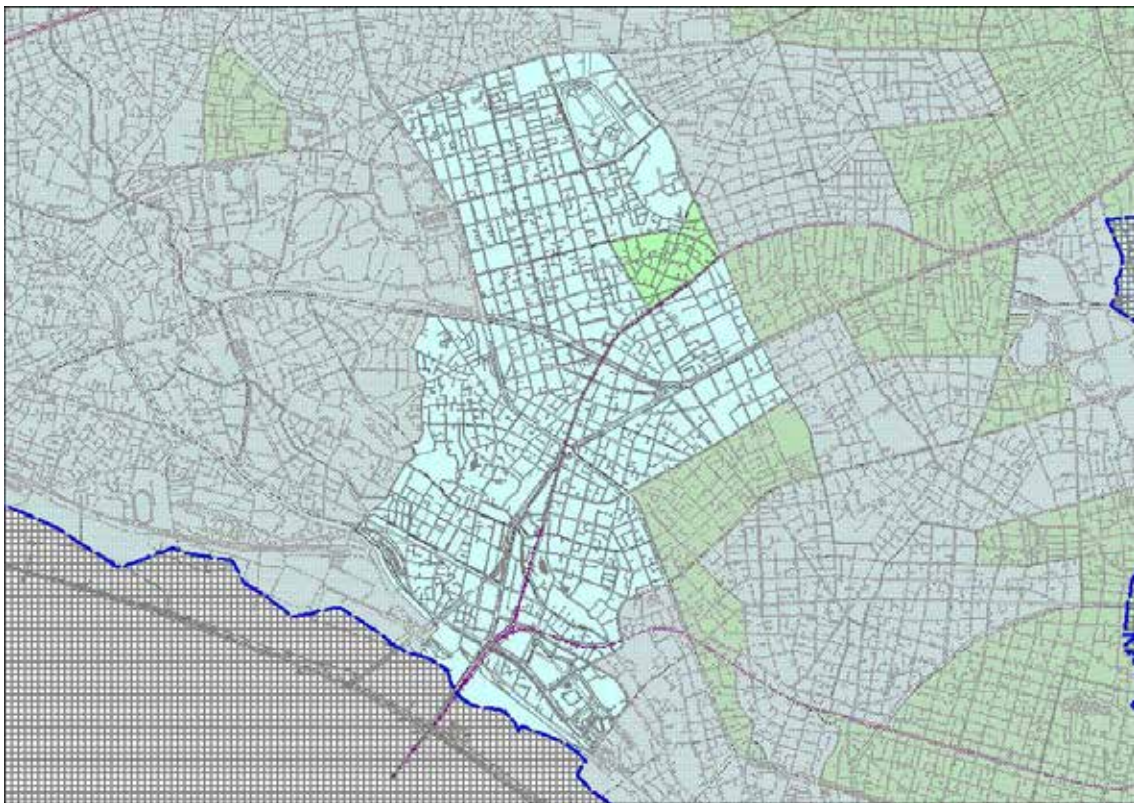
(2)社会特性

産業

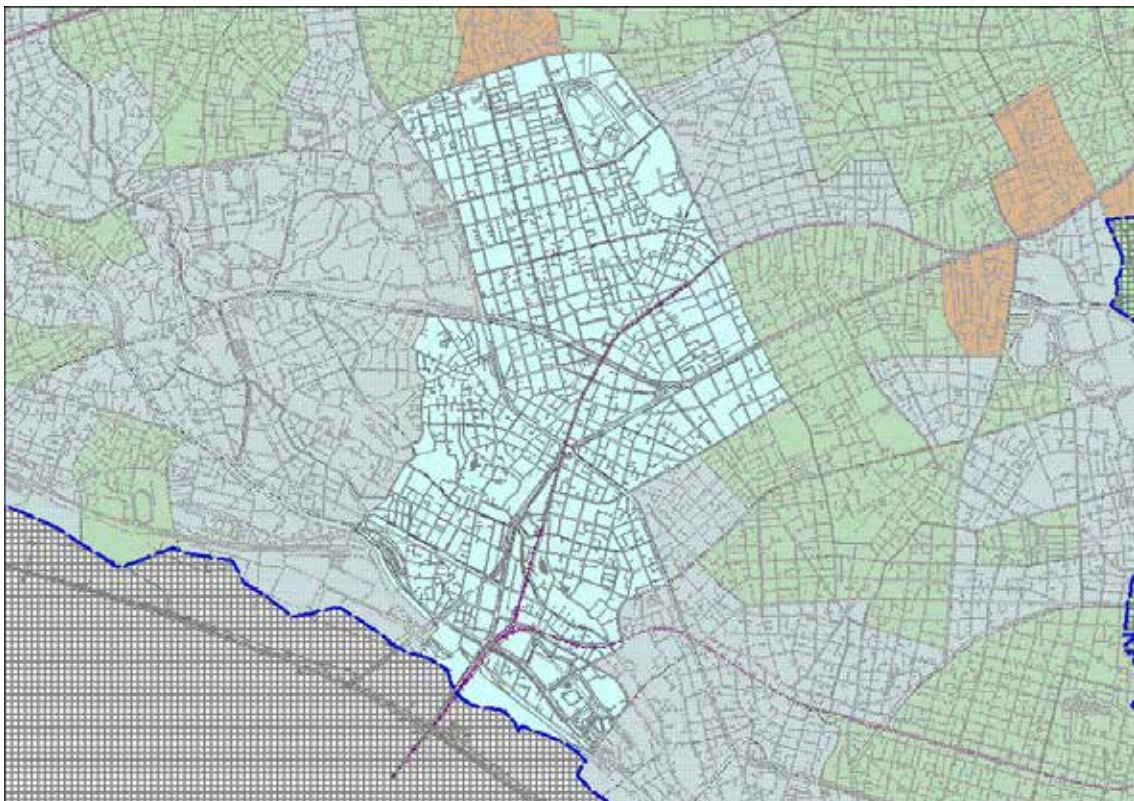


(3)地域危険度

建物倒壊危険度



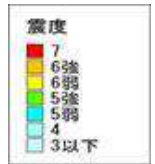
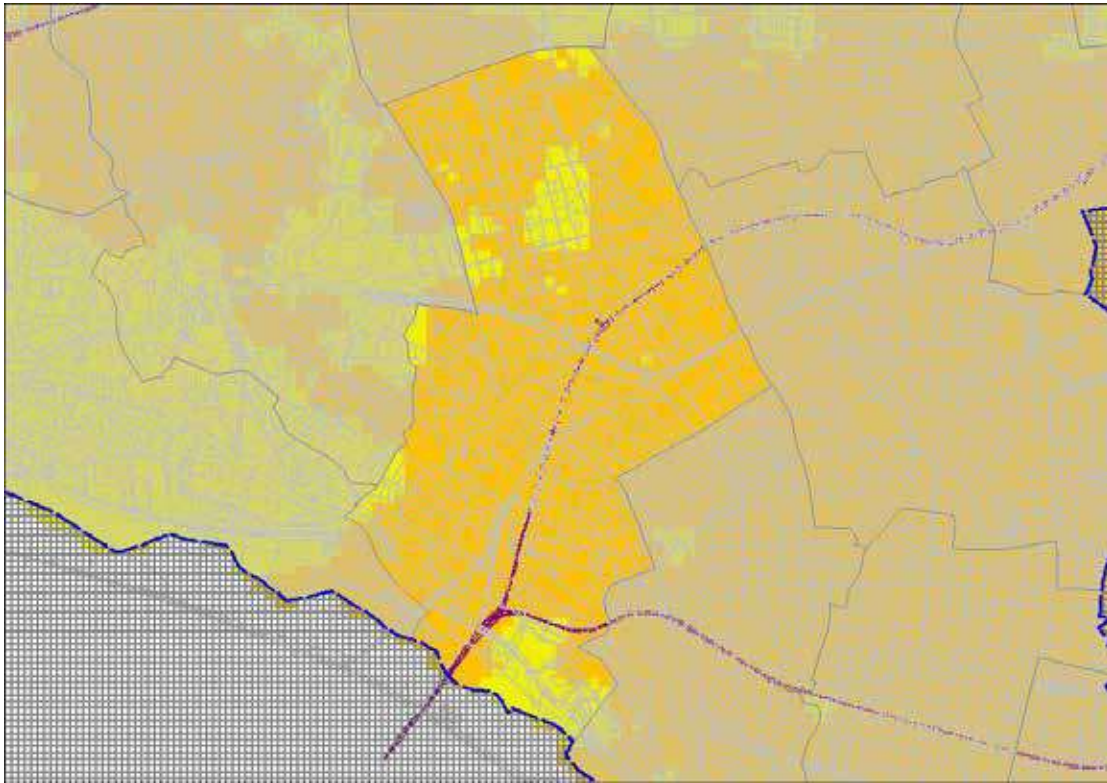
火災危険度



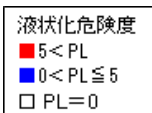
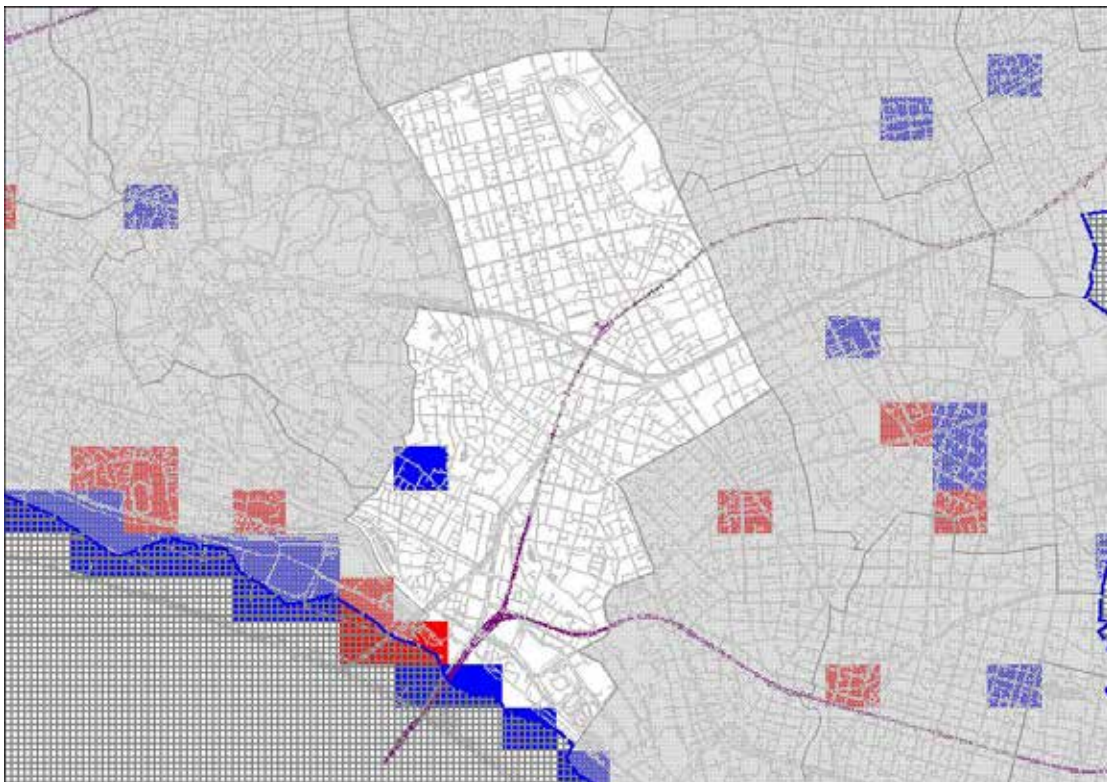
(4)被害想定

全壊棟数	605 棟	死者	34 人
半壊棟数	1,429 棟	負傷者	384 人
全焼棟数(倒壊建物含まず)	308 棟	うち重傷者	70 人

震度分布

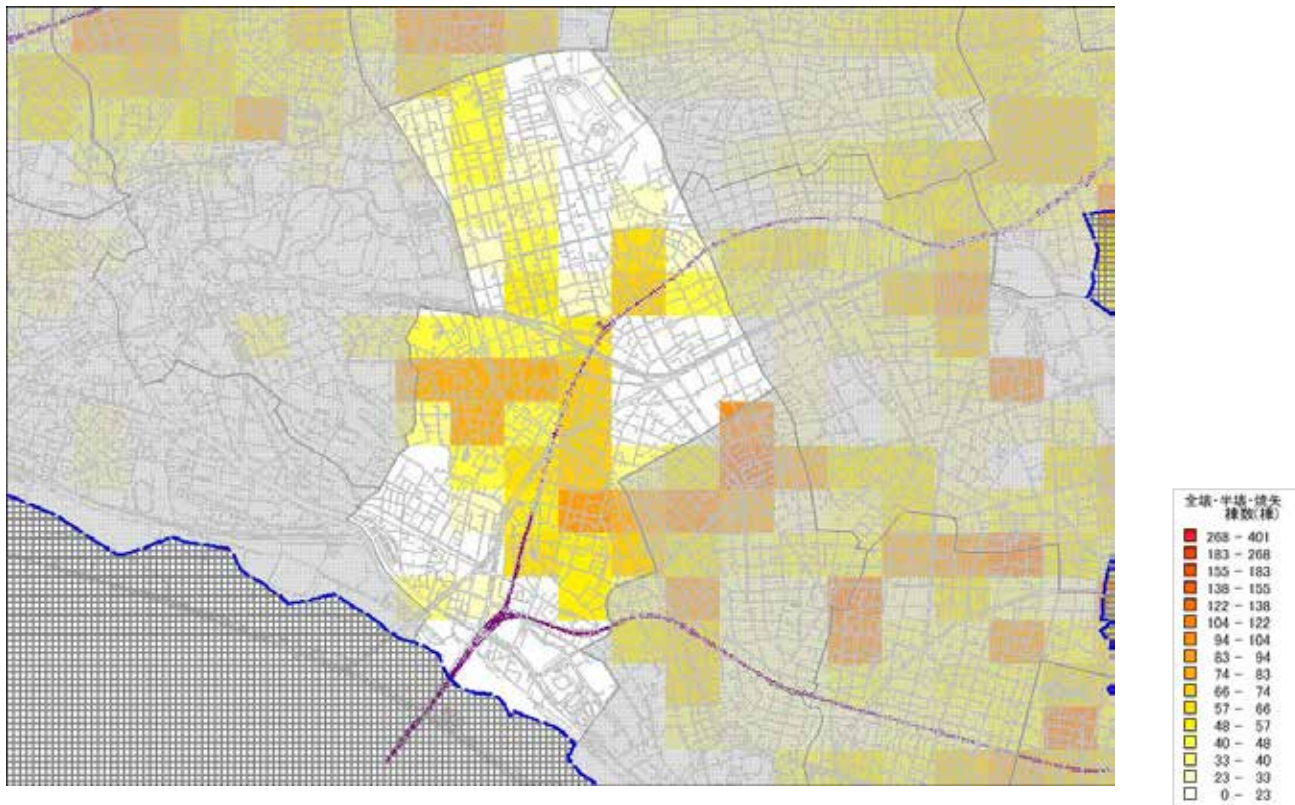


液状化分布



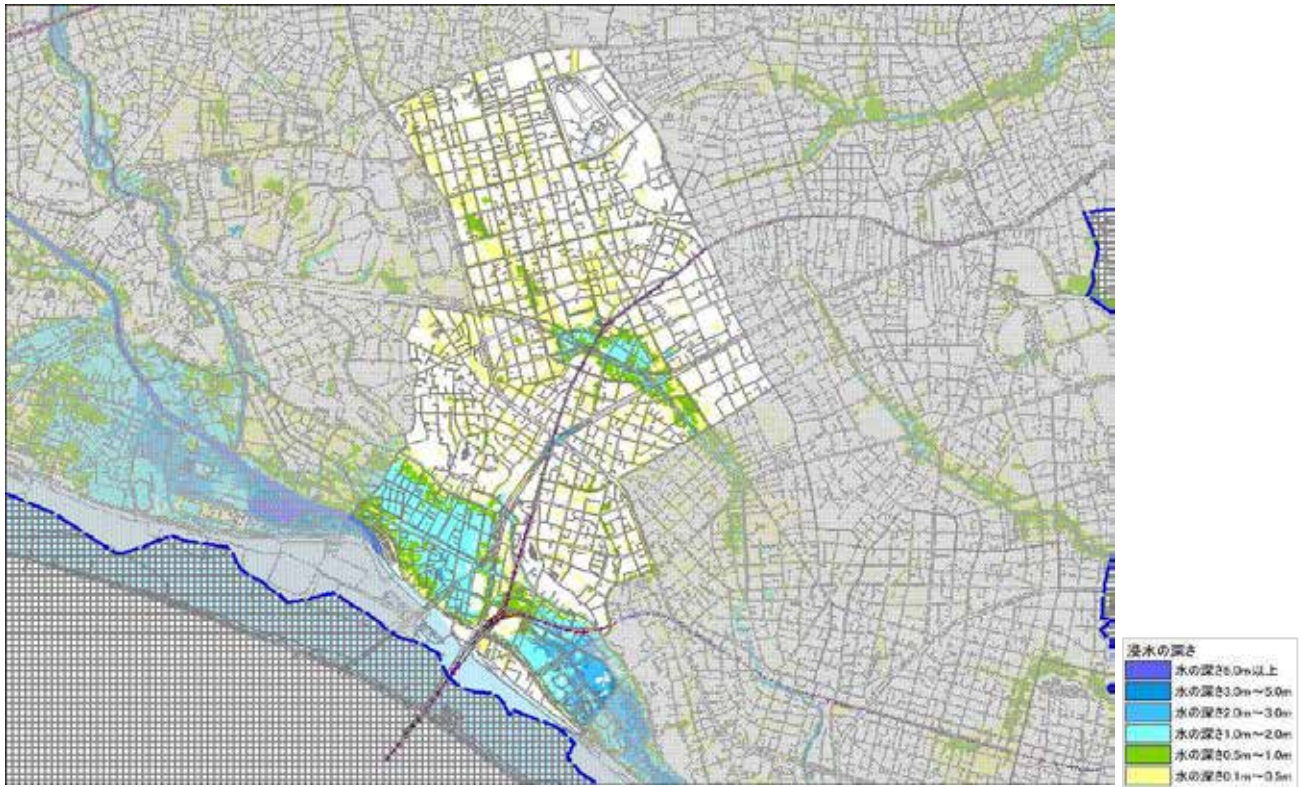
(4)被害想定

被害棟数分布



(4) 被害想定

浸水想定（内水氾濫・中小河川洪水版）



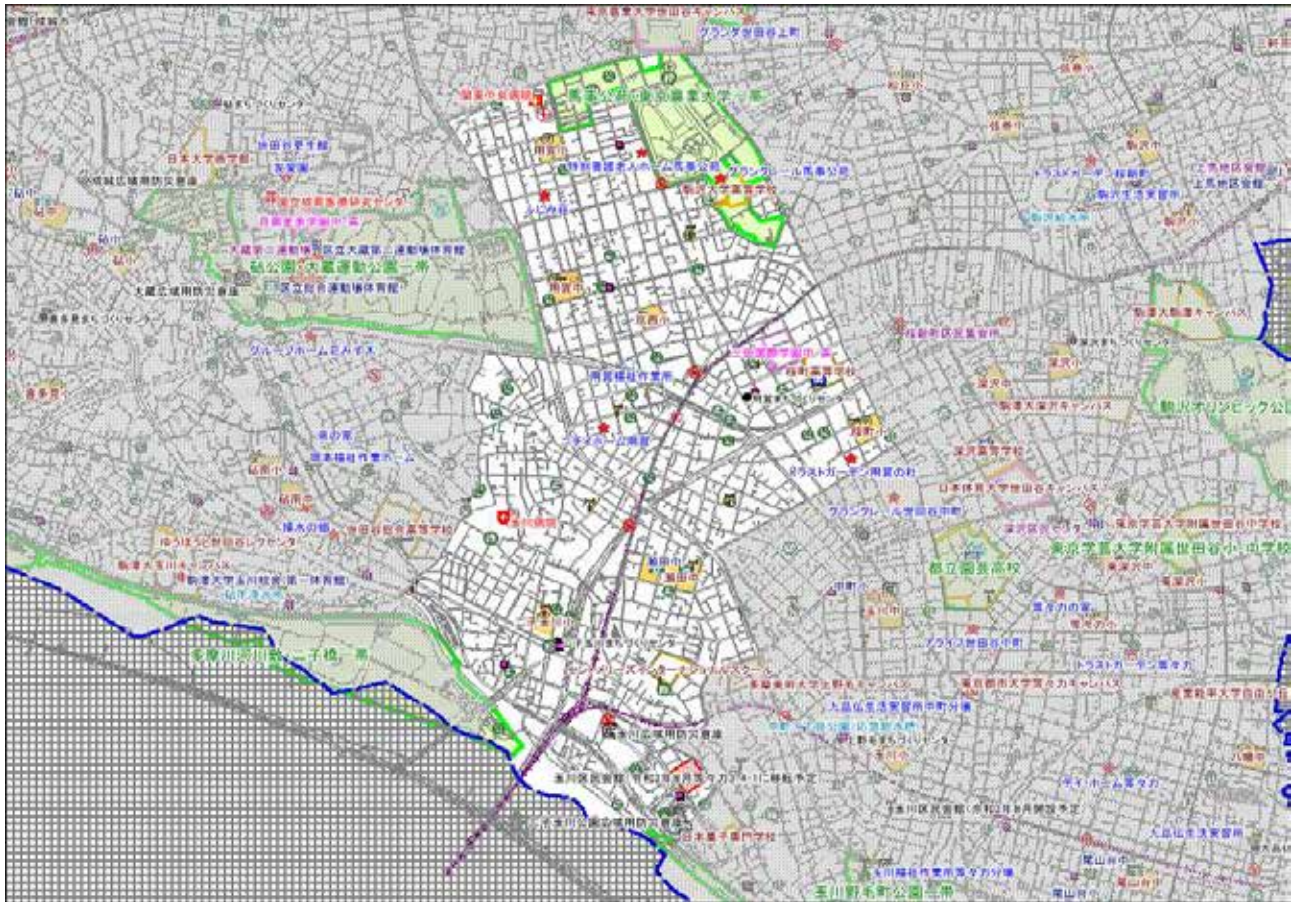
浸水想定（多摩川洪水版）



(5)防災資源一覧

広域避難場所	馬事公苑・東京農業大学一带 多摩川河川敷・二子橋一带 多摩川河川敷・田園調布先一带				
一時集合所	二子玉川東公園 二子玉川公園 諏訪神社 二子玉川小学校 畑(長崎氏所有) 瀬田中学校 天理教玉瀬分教会 畑(大塚氏所有) 瀬田フラワーランド ザ・パークレックス用賀 聖アントニオ神学校 瀬田小学校 瀬田三丁目公園 瀬田玉川神社 用賀神社境内 桜町小学校 佐川急便世田谷用賀営業所 京西小学校 玉川台公園 郵政省宿舍前庭 用賀小学校 用賀中学校 上用賀テニスクラブ 天神児童遊園				
指定避難所	京西小学校 用賀中学校 用賀小学校 二子玉川小学校 瀬田中学校 瀬田小学校 桜町小学校				
予備避難所	セントメリーズインターナショナルスクール 桜町高等学校 駒沢大学高等学校				
母子避難所	三田国際学園中学・高等学校				
福祉避難所(高齢者)	グランクレール馬事公苑 トラストガーデン用賀の杜 老人休養ホームふじみ荘 ニチイホーム用賀 特別養護老人ホーム馬事公苑				
福祉避難所(障害者)	玉川福祉作業所 用賀福祉作業所				
水害時避難所(第1次)		野川・仙川洪水時避難所			
水害時避難所(第2次)	瀬田小学校 瀬田中学校				
医療救護所	二子玉川小学校 用賀中学校				
東京都災害拠点病院	関東中央病院 玉川病院				
東京都災害拠点連携病院					
緊急医療救護所	関東中央病院 玉川病院				
一時滞在施設					
帰宅支援ステーション	都立桜町高校	帰宅困難者支援施設			ヶ所
ボランティアマッチングセンター					
マンホールトイレ	12 ヶ所	防災無線塔	12 ヶ所	緑地	4 ヶ所
輸送拠点	玉川区民会館				
給水拠点					
広域用防災倉庫	玉川広域用防災倉庫				
土のうステーション	上用賀児童館 上用賀三丁目公園 用賀出張所 二子玉川公園(事務所前) 二子玉川地区会館別館 はなみずき広場				
警察署・交番	瀬田交番 用賀交番 二子玉川交番 馬事公苑前駐在所				
消防署・出張所	用賀出張所				

(6)防災資源マップ



○ 総合支所	■ 広域避難場所
● まちづくりセンター	■ 指定避難所
⊗ セタがや災害ボランティアセンター	■ 予備避難所
Ⓜ 広域防災倉庫	■ 母子避難所
○ 給水拠点	★ 福祉避難所(高齢者)
T 防災無線塔	☆ 福祉避難所(障害者)
⊗ マンホールトイレ	■ 水害時避難所(第1次)
■ 土のうステーション	■ 水害時避難所(第2次)
ⓧ 警察署	◆ 野川・仙川洪水時避難所
ⓧ 交番	■ 医療救護所
ⓧ 消防署	■ 東京都災害拠点病院
ⓧ 消防出張所	■ 東京都災害拠点連携病院
ⓧ 身近な広場	⊕ 緊急区療救護所
ⓧ 公園	ⓧ 一時滞在施設
ⓧ 緑地	■ 指定支援ステーション
	ⓧ 帰宅困難者支援施設
	ⓧ ボランティアマッチングセンター
	■ 輸送拠点等

出典
 世田谷区土砂災害ハザードマップ 令和元年9月
 世田谷区の町丁別人口と世帯数 令和2年4月1日現在
 町丁別屋間人口(推計) 平成27年国勢調査 東京都 平成27年10月
 平成28年度土地利用現況調査データ 平成29年3月
 首都直下地震等による東京の被害想定報告書 東京都防災会議 平成24年4月18日公表
 世田谷区洪水・内水氾濫ハザードマップ 令和2年9月
 世田谷区防災マップデータ 令和2年2月

2 各団体の防災活動～現在の取組状況～

団体名	防災担当者数	防災に関する会議			防災活動、資機材配備等の実施		消火資機材の配備		消火資機材の配備				
		実施している	実施していない	会議名	実施回数 (年間)	実施している	実施していない	配備している	配備していない	スタンドパイプ		D型ポンプ	
										数量	場所	数量	場所
用賀南町会		○		役員会	1	○		○		1	玉川台東公園内倉庫	1	町会倉庫(用賀2-25)
用賀町会		○		役員会	1	○		○		3	町会C倉庫	1	町会C倉庫
上用賀町会		○		町会防災部 会議 町会避難所 担当者会議	2 6	○		○		1	用賀中学校内 町会第1倉庫	2	用賀中学校 内町会第1 倉庫、用賀公 園内町会倉 庫
馬事公苑前ハイム 管理組合		○		防災対策委 員会 防災訓練実 行委員会	12 数回	○		○					
用賀2丁目第二自 治会防災部	2	○		総会時の役 員会		○		○				1	資材倉庫
玉川台2丁目自治 会防災部			○			○		○				1	アパート敷 地内倉庫
玉川町会		○		町会防災部 会	5	○		○		4	教育相談室裏 玉川3-21-3 緑道側 西地区ふれあ い広場	2	教育相談室 裏 西地区ふれ あい広場
瀬田町会		○		地区防災担 当者会議	2	○		○		1	防災倉庫	1	防災倉庫
シティコート二子玉 川防災本部	9	○		特に名称な し	1	○		○					

団体名	消火資機材の配備				防災訓練等の実施			
	消火器		その他		実施している	実施していない	防災訓練	
	数量	場所	名称	場所			回数	実施場所
用賀南町会					○		1	首都高速3号線高架下 玉川台広場
用賀町会	1	町会B倉庫	C型ポンプ	町会B倉庫	○		1	京西小学校
上用賀町会			銀色防火服、銀色 長靴、銀色ヘル メット、銀色防火 手袋	用賀中学校内町会 第1倉庫、用賀公 園内町会倉庫	○		2	用賀小学校・用賀中 学校
馬事公苑前ハイム 管理組合	各階1本	各階			○		1	馬事公苑前ハイム
用賀2丁目第二自 治会防災部	28	各棟の階 段			○		1	町内会指定の場所
玉川台2丁目自治 会防災部	17	1号棟・2 号棟各階、 集会所			○		2	アパート内の通路
玉川町会	1	町会会館	C型ポンプ1台	玉川3-21-3緑道 側	○		2	二子玉川小学校 二子玉川公園
瀬田町会					○		1	瀬田小(中)学校
シティコート二子玉 川防災本部	200超	各戸玄関に 1台			○		1	団地内で消火訓練 (不定期・実施しない年 度もあり)

団体名	防災訓練等の実施				防災マップ												
	救命救急講習会		その他		作成済	作成中	作成検討中	作成予定なし	掲載情報							その他	
	回数	実施場所	訓練名称	実施場所					一時集合所	広域避難場所	避難所	街路消火器	防火水槽	震災用井戸	消火栓		
用賀南町会	1	首都高速3号線高架下 玉川台広場			○					○	○	○					病院、救護所、役所 関係施設、町会掲 示板、公園等
用賀町会					○					○	○	○					病院、救護所、役所 関係施設、町会掲 示板、公園等
上用賀町会					○					○	○	○					病院、救護所、役所 関係施設、町会掲 示板、公園等
馬事公苑前ハイム 管理組合								○									
用賀2丁目第二自 治会防災部	1	まちづくりセ ンター						○									
玉川台2丁目自治 会防災部								○									
玉川町会					○					○	○	○	○		○		トイレ、公衆電話、 ご近所広場
瀬田町会								○									
シティコート二子玉 川防災本部								○									

団体名	防災士等の数					災害時連携・協定 (区を除く)				避難行動要 支援者協定			避難行動要支援者対策				
	防災士	把握していない	地域防災リーダー	把握していない	他団体との連携	協定締結	特になし	連携先・内容	協定先・内容	締結している	検討中である	予定はない	見守り活動	日頃からの	避難行動要支援者体験	その他	特に実施していない
用賀南町会					○			用賀3町会合同 (用賀地区防災 マップ作成)				○					○
用賀町会	1		1		○			用賀3町会合同 (用賀地区防災 マップ作成)				○					○
上用賀町会	2				○			用賀3町会合同 (用賀地区防災 マップ作成)、 YCC(ようがコ ミュニティクラ ブ)、用賀商店街 振興組合、ベネッ セ				○	○				
馬事公苑前ハイム 管理組合		○		○						○						防災対策委 員会で対策 協議中	
用賀2丁目第二自 治会防災部				○								○					○
玉川台2丁目自治 会防災部		○		○								○	○				
玉川町会	5		3							○			○				
瀬田町会	3											○					○
シティコート二子玉 川防災本部		○	1									○	○		団地内で高 齢者見守り の会が活動 中		

団体名	連絡手段の確保		防災活動に関するマニュアル (避難所運営マニュアルを除く)				救出救助に係る資機材の配備											
	簡易無線	、 作成・整備 、 連絡網の	その他	策定済み	策定中	検討中	予定なし	名称	配備していない	配備している	リアカー	はしご	脚立	担架	救急セット	ヘルメット	救助工具セット	ボール
用賀南町会			町会内電話 で連絡(役 員のみ)			○			○					4	1	10		
用賀町会			特になし			○			○	1		1	2	4	17		1	
上用賀町会		○				○			○	2					100	3		
馬事公苑前ハイム 管理組合		○				○			○				4	1	6		2	
用賀2丁目第二自 治会防災部						○			○		○	○	○	○	○		○	
玉川台2丁目自治 会防災部						○			○		○	○		○	○		○	
玉川町会		○				○			○	1	1	1	1	1	50	1	4	
瀬田町会		○				○			○	1				2	10	1		
シティコート二子玉 川防災本部	※		※導入予定			○			○	1	1	1	1	2	5	1	1	

団体名	救出救助に係る資機材の配備							食糧等の備蓄			
	スコップ	手おの	のこぎり	ジャッキ	両口ハンマー	ツルハシ	その他	保管場所	備蓄していない	備蓄している	アルファ米
用賀南町会	2						拡声器、トラロープ	玉川台東公園内倉庫		○	
用賀町会	2	2	1	1	1		エンジン式チェーンソー 1台			○	
上用賀町会							拡声器、三角尺、ロープ、フタ開けアーム、救急箱、ウェス、防災組織用防火部上下服	用賀中学校内町会第1倉庫、用賀公園内町会倉庫、お稲荷さん町会防災倉庫、用賀小学校内町会防災倉庫		○	200
馬事公苑前ハイム管理組合	1		2	1	2		ボルトカッター2	ハイム倉庫内		○	300
用賀2丁目第二自治会防災部	○	○	○		○	○					
玉川台2丁目自治会防災部	○	○	○		○	○		アパート内倉庫		○	
玉川町会	4	4	4	4	4	4		教育相談室裏 玉川3-21-3 緑道側	○		
瀬田町会								町会事務所、防災倉庫		○	
シティコート二子玉川防災本部	7	1	5	1	1			防災倉庫(団地内) 防災用具コンテナ(駐輪場)		○	

団体名	食糧等の備蓄											
	ビスケット・乾パン	おかゆ	飲料水	缶詰類	レトルト食品類	カセットコンロ	災害用食料 その他	非常用トイレ	照明	発電機	給水タンク	その他
用賀南町会						1			2			テント、炊き出し用かまど、コードリール、カセットボンベ
用賀町会								50	3	1		
上用賀町会			114						3			ハロゲン懐中電灯、防水懐中電灯、非常用ラジオ、マンガン電池
馬事公苑前ハイム管理組合	180		706			4		250	1	2		
用賀2丁目第二自治会防災部												
玉川台2丁目自治会防災部			○	○	○	○						
玉川町会						2				1		まかないくん30型 基本セット 1 貯水槽 1
瀬田町会			250					300				
シティコート二子玉川防災本部	200		20×250本程度			5		7 (マンホールトイレ2、簡易型5)	1	1	3	灯油バーナー 1 大ナベ 2 テント 3

団体名	食糧等の備蓄		その他の防災活動
	保管場所	備蓄品配布先	
用賀南町会	玉川台東公園内 倉庫		
用賀町会			
上用賀町会	用賀中学校内町 会第1倉庫、用賀 公園内町会倉庫		
馬事公苑前ハイム 管理組合	ハイム倉庫内		
用賀2丁目第二自 治会防災部			
玉川台2丁目自治 会防災部	集会所	居住者	
玉川町会	町会会館 ふれあい広場		
瀬田町会	町会事務所		
シティコート二子玉 川防災本部	団地内防災倉庫	特に決めてい ない	防災講演会

3 地区における課題と今後の取り組み

(1) 用賀・二子玉川地区における課題

分類	課題
(1) 地区の コミュニティ 形成	<ul style="list-style-type: none"> ○地域に対する意識が低い ○地域の人との日常的な交流がほとんどない ○避難所運営訓練や防災訓練の参加者が少ない ○町会の加入率が低い
(2) 災害に 対する各家 庭での備え	<ul style="list-style-type: none"> ○防災意識が低い ○在宅避難の備えや準備が不足している(備蓄物品等) ○住宅の安全対策が不足している(耐震化、水害対策等) ○行政や町会等が行っている防災知識の普及・啓発活動が、住民に届いていない
(3) 自助・共 助・公助の役 割分担と連 携	<ul style="list-style-type: none"> ○自助・共助・公助の役割分担に基づいた実践的な避難所運営訓練や防災訓練が不十分である ○災害時における、地域活動団体や企業との連携・協力体制が不十分である
(4) 初期消 火	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所運営訓練や防災訓練の参加者が少ない ○住宅の防火安全対策が不足している ○地区の火災発生危険箇所の把握と情報共有が不十分である ○火災を出さないための取組みの啓発が不十分である
(5) 避難所 で生活しな いで済むた めの対策	<ul style="list-style-type: none"> ○多く人が避難する避難所が「3密」状態により、新型コロナウイルス感染が拡大する恐れがある ○避難所の備蓄品の量も種類も十分ではない ○共同生活による様々なストレスにより、避難者が体調不良におちいる可能性が高い
(6) 避難所 運営の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所の役割や運営方法を理解していない避難者が多い ○避難所運営にかかわる人材が不足している ○避難所運営訓練のマンネリ化し、内容の充実が必要である ○要配慮者支援が行き届いていない ○発災時には情報が錯綜し、正確な情報を収集することが困難である

(2) 今後の取組み

課題解決に取り組み、地区防災力の向上を図っていく。

課題 ①地区のコミュニティ形成

災害発生から72時間は、自助と共助で乗り切らざるを得ない。日頃から挨拶する関係が、災害発生時に近隣同士の共助をスムーズにする。

■地区・地域団体における今後の取組みの方向性

- ・顔の見える関係づくり、集合住宅における見守りネットワークづくり(日頃からの近所付き合い)
- ・地域の事業や防災訓練への参加呼びかけ
- ・町会加入率のアップ(行政と地区が連携して加入率を上げる)

課題 ②災害に対する各家庭での備え

震災では、家屋の倒壊や家具の転倒による圧死、窒息死が多く、事前の備えで生死が決まる。倒壊した建物から救出された人の約8割が、家族や近所の住民等によって救出されている。

気候変動の影響により、想定を超えるような水害が頻発している。風水害では、事前に雨量等の予測が可能な場合が多いため、早めの情報収集と事前準備、避難行動が重要となる。

■地区・地域団体における今後の取組みの方向性

- ・家庭での7日間以上の備蓄物品の準備
- ・倒壊家屋から助け出すための資機材の備蓄、操作訓練、定期的な点検
- ・住宅の安全対策(家具の固定、避難経路の確保、耐震化、感震ブレーカー、ブロック塀対策、土のう・止水板の準備等)
- ・地区の安全対策(危険個所の点検、側溝の掃除等)
- ・防災知識の普及・啓発(研修や訓練への参加)

課題 ③自助・共助・公助の役割分担と連携

災害時に命を守るためには、「自助、共助、公助」のバランスが取れた役割分担と連携が重要である。平時より実践的な訓練を行うとともに、行政と連携し専門性の高い研修・訓練も行っていく。

■地区・地域団体における今後の取組みの方向性

- ・自助:災害に備えた各家庭での備えを実践

- ・共助：地区のコミュニティ形成を図るとともに、地域活動団体や企業などとのつながりを強固にし、連携を促進する
- ・共助：地区の安全対策を講じる
- ・共助：地域活動団体や企業との連携を深める
- ・公助：行政による広報や研修・訓練の支援、防災対策の整備
- ・住民、事業者、行政の協力体制の一層の強化

課題 ④初期消火

火災の延焼拡大を防ぐため、消防団、消防車が到着するまでの間、初期消火にあたる。

■地区・地域団体における今後の取り組みの方向性

- ・消火訓練への参加を呼びかけ、消火技術を習得する
- ・街路消火器の設置場所の把握
- ・地域の火災発生危険箇所の把握
- ・家庭用消火器の設置と定期的なメンテナンス
- ・火災を出さないための取り組みを行う（ブレーカーを落として避難する訓練、通電火災予防のための感震ブレーカー設置等）

課題 ⑤避難所で生活しないで済むための対策

避難とは「難」を「避」けること、つまり安全を確保することであり、安全な場所にいる人はそもそも避難する必要がない等、避難行動にはさまざまな種類がある。避難所の備蓄品の量も、91万人を超える区民を支えるほどの量はない。多く人が避難する避難所が「3密」状態により、今日では新型コロナウイルス感染が拡大する恐れがある。

■地区・地域団体における今後の取り組みの方向性

- ・3密を防ぐため、避難行動にはさまざまな種類があるという分散避難について、広報紙や区ホームページで広く周知する
- ・在宅避難の準備
- ・家族が7日間以上生活できる備蓄品の備え（食料、飲料水、簡易トイレ等）
- ・在宅避難所している方の物資供給や災害情報伝達の仕組みづくり

課題 ⑥避難所運営の強化

避難生活では、狭いスペースに大勢の人が一緒に生活するため、体を窮屈にして過ごすことが多く、肉体的・精神的疲労が蓄積することで震災関連死につながるほか、今日では新型コロナウイルス感染拡大につながる問題もある。避難所を円滑に運営していくため

には、地域住民、事業者(学校等)、行政の三者が、あらかじめ避難所運営に対しての共通認識を持ち、協力体制づくりを図ることが重要である。

■地区・地域団体における今後の取り組みの方向性

- ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策(インフルエンザ、ノロウイルス、食中毒など)
- ・避難所運営マニュアル及び体制の見直し
- ・避難所運営組織の人材育成
- ・避難所の状況を把握し、3者で情報共有する仕組みづくり
- ・避難者自身で自主的に避難所運営ができる仕組みづくり(動ける人にはボランティアとして活動してもらう等)
- ・避難所運営訓練の実施(班別訓練、HUG(避難所運営ゲーム)、図上訓練)
- ・時間の経過とともに深刻化する避難者の健康維持への取り組み
- ・避難行動要支援者(高齢者、障害者、子ども、外国人等)、人の助けを必要とする人への支援
- ・災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板(Web 171)、防災無線の訓練、FMせたがや、SNS、防災メールの利活用

